

令和 5 年 度

医 学 部 看 護 学 科

特 別 選 抜

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. この問題冊子には、表紙を除いて問題用紙は4枚、解答用紙は3枚、下書用紙は3枚あります。試験開始の合図があってから確認してください。
なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等があった場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
3. 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
5. 解答用紙以外は、試験終了後、持ち帰ってください。

- 1 表1は、6歳～79歳の人を対象に実施した令和2(2020)年度の新体力テストの結果のうち、「握力」、「上体おこし」、「長座体前屈」の値を示したものです。次の問いに答えなさい。

表1 新体力テストの状況(平均値), 性・年齢別

	握力(kg)		上体おこし(回)		長座体前屈(cm)	
	男	女	男	女	男	女
6歳	9.73	9.15	12.31	12.50	27.28	28.75
7	11.12	10.47	14.16	13.65	28.91	31.42
8	13.06	12.37	16.21	15.62	29.98	33.95
9	14.89	14.50	18.26	17.98	32.26	36.13
10	17.48	17.35	20.75	19.20	34.09	39.88
11	20.42	19.86	21.38	19.67	36.02	40.55
12	25.19	22.17	24.25	21.32	40.85	43.28
13	30.58	24.17	27.57	22.63	44.99	47.61
14	35.35	25.94	30.35	24.37	48.46	48.98
15	36.93	25.69	27.80	22.33	46.24	48.35
16	39.60	26.09	29.03	23.53	48.26	49.19
17	40.74	26.68	30.79	23.57	50.45	49.12
18	40.40	26.00	29.55	23.40	50.41	46.82
19	42.22	25.47	30.25	23.22	49.13	47.61
20～24	45.56	27.37	28.25	20.44	46.26	44.16
25～29	45.13	27.43	26.79	19.42	42.58	43.46
30～34	46.35	28.76	26.51	18.56	42.29	43.12
35～39	45.27	28.49	24.70	16.92	40.52	41.26
40～44	45.32	28.20	22.55	15.81	38.51	41.68
45～49	45.29	28.30	22.07	14.90	38.53	41.26
50～54	45.01	27.86	20.98	13.12	38.06	41.18
55～59	45.43	26.90	20.12	12.52	37.90	41.90
60～64	42.38	26.56	18.99	12.02	35.81	41.33
65～69	39.70	25.09	14.72	9.07	34.89	40.33
70～74	38.39	23.91	13.35	7.48	35.38	39.43
75～79	35.20	22.58	10.79	7.48	34.21	37.80

資料 文部科学省「体力・運動能力調査」

(出典：国民衛生の動向・厚生の指標 増刊・第69巻第9号 通巻第1081号, p440, 一般財団法人厚生労働統計協会, 2022. より引用, 一部改変)

(1) 表 1 の結果から、加齢に伴う体力の変化の特徴を 300 字以内で述べなさい。

(2) 表 1 の結果から、65 歳以上の人々の日常生活に生じやすい問題点と、その問題点を予防するための対策について、あなたの考えを 200 字以内で述べなさい。

② 次の文章を読み、次の問いに答えなさい。

看護界は、経験をことのほか重視する。たとえば、看護職の職能団体である公益社団法人日本看護協会が開催するさまざまな研修では、受講資格に経験年数が問われることが少なくない。あるいは、受講後のアンケート用紙には、必ずといっていいほど経験何年目を記入する欄が設けられている。

また、看護師同士で自己紹介するときには、臨床経験何年目なのかが、名前や所属の後に自然に発せられる。現場においても、「あの人は何年目？」という言葉の飛び交う頻度は高く、それによって、その人の臨床能力がどの程度なのかを暗黙のうちに共有している。さらに、経験年数が、新たな役割の付与機会、異動、昇格などの目安にもなっている。

経験年数が増えれば経験知が増え、能力が高まることは、看護界に限らず一般論として理解できる。しかし、年数だけを積みばよいのではない。同じ経験をして、次への成長に活かせる人と活かさない人がいる。伸びる人というのは、勘所がいいというだけでなく、努力、経験から学ぼうと省察する力、そして、経験できる環境も必要になる。それらがあいまって、新たな経験が前の経験に上積みされるような良質な経験となる。

次にあげる看護師の例は、負けん気が強いとか、頑張り屋だという努力する性質もさることながら、仕事に対する姿勢が一貫しており、そのことが経験をモノにしていくことにつながることを示している。

「周りから、よく態度が悪いって言われるんですよ。でも、仕事ができなくて怒られたことはないんです。同期の中では、ぜったい誰にも負けにくいくらい見えないところで勉強しているから。遊んでいるように見えると思いますけど、むちゃ、勉強してますよ。してるっていうのは絶対言わないけど。勉強してるかどうかは、普段の仕事に現れるもんだと思っているから。そういう仕事だって思っているから。同じ指摘はもう受けないって気持ちで、復習もしますし、予習もします」〈総合病院手術室勤務の2年目看護師〉

年数を経ることで技術は身につく、看護業務はできるようになる。しかし、看護師として経験を積むということには、省察が伴うということを、次の看護師が語っている。

「1, 2年もすれば、その病棟に染まりますし、技術もついてくる。それで自信はできると思うんです。でも、そういうことではなくって。(中略)先に技術が身についていって、ああ自分もやれるのかなと思った時に、そこで止まるか、身についた技術よりもっといいものはないか、患者さんに対してどういうことをしていくのが本当の看護なのかっていうのを、常に考えていく。自分との対話でフィードバックしながら自信っていうのができていくんじゃないかなって思いますね」〈6年間の臨床経験の後、看護大学に編入した学生〉

出典：金井 壽宏，楠見 孝編：実践知—エキスパートの知性，p208-210，有斐閣，2012年より引用，一部改変

(1) 筆者の考える省察とは何か、100字以内で述べなさい。

(2) 看護師にとって良質な経験を積む上で重要なことは何か、あなたの考えを300字以内で述べなさい。

科目	小論文
----	-----

受験番号					

1 解答欄
(1)

			5				10				15				20	
																5
																10
																15
																(300字)
																(20×15)

採点

科 目	小 論 文
-----	-------

受 験 番 号					

2 解 答 欄

(1)

5	10	15	20	5 (100字)
(20×5)				

(2)

5	10	15	20	5
10				
15 (300字)				
(20×15)				

採 点

下書用紙

注意： この下書用紙に記入した解答は、採点の対象としますので持ち帰ってください。

1

解答欄

(1)

			5				10				15				20	
																5
																10
																15
																(300字)
																(20×15)

下書用紙

下書用紙

注意： この下書用紙に記入した解答は、採点の対象としますので持ち帰ってください。

2

(1)

			5				10				15				20	

5
(100字)
(20×5)

(2)

			5				10				15				20	

5
10
15
(300字)
(20×15)

下書用紙